

2024年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	国家試験対策(運営管理)	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	2セメスター(後期)
学科・専攻	美容師科・全専攻	授業 形態	講義	単位 時間	1 30	曜日 時限	水 3・4
教員	諸岡 功明	【教員実務 経験】	大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています。				
【到達目標】	筆記の国家試験における運営管理分野を中心に、周辺の頻出問題のポイントを理解し、同分野の過去問の演習を行うことで、過去問において正答率8割以上をとることができるようになる。それらを通して、公衆衛生の向上に寄与しようとする美容師になるために、必要な知識を身につける。						
【授業の学習内容】	国家試験に必要な知識、テクニックを当該教科だけでなく、関係する他教科の分野まで身につけることができます。						
週	授業形態	授業計画・内容					小・中間テスト・定期試験
1	登校	少子高齢化と美容業の現状について理解できる。					
2	登校	前回の分野の過去問を演習することで、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる。					小テスト5点
3	登校	以下のポイントにつき、1年時に学んだポイントを確認し、過去問に正答できる。①資金管理②税金					
4	登校	前回の分野の過去問を演習することで、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる。					小テスト5点
5	登校	社会保険制度について、1年時に学んだポイントを確認し、それに関する過去問に正答できる。					
6	登校	前回の分野の過去問を演習することで、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる。					小テスト5点
7	登校	年金について、1年時に学んだポイントを確認し、それに関する過去問に正答できる。					
8	登校	労働者の保護について、1年時に学んだポイントを確認し、それに関する過去問に正答できる。					小テスト5点
9	登校	中間試験					中間試験20点
10	登校	中間試験の誤答の見直しを行い、それを通じ苦手な分野を把握、ポイントを確認する。					
11	登校	保健・人体分野の国家試験頻出ポイントを理解する。					
12	登校	前回の分野の過去問を演習することで、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる。					
13	登校	保健・皮膚分野の国家試験頻出ポイントを確認し、当該分野の過去問に正答できる。					
14	登校	定期試験					定期試験50点
15	登校	定期試験フィードバック・成績評価					小テスト10点
準備学習 時間外学習	準備 : まとめのプリントを整理するファイルの用意 時間外学習 : 授業のポイントを復習し、記憶する。						
評価方法	●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点 ◇出席 : 出席率80%以上(下回る場合は単位認定は無し、E評価となる) ◇合否 : 60点以上で合格(A:100~90 B:89~80 C:79~70 D:69~60) 否(E:評価資格喪失 F:59~0) 実習や習熟度が測れないものはS・U評価						
受講生への メッセージ	国家試験が間近になったこの時期に、一つ一つのポイントをきちんと理解したうえで、過去問の演習をこなせば、時間効率がよく、100%合格できる未来が約束されます。できるところはよいので、自分ができないところを知り、合格を勝ち取れる力と自信を手に入れ、実技試験の励みにしましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】	日本理容美容教育センター『運営管理』適時講師が教科書のポイントをまとめたものを用意します。						